

第36回

ヒューマンインターフェイス研究会

ヒューマンインターフェイス研究会は、前身の福祉工学研究会から数えて25年の節目を迎えます。近年のAI・IoT技術の発展により、人間と機械の関りを意味するヒューマンインターフェイスに関する技術は、音声認識、画像認識、計測技術、診断技術、ロボティクス技術、生成AI（人工知能）技術等と大きく広がっています。今回の講演会では、様々なヒューマンインターフェイス技術を概観し、現状からその方向性や可能性を考えます。

日時

2025年 9月10日 水

13:00 - 17:30 (受付: 12:30~)

場所

名古屋工業大学 4号館ホール
名古屋市中区昭和区御器所町 名古屋工業大学 4号館

定員
50名
先着順

申込締切
9/8
(月)

13:00 - 13:05 開会あいさつ

13:05 - 13:35

福祉工学研究会～ヒューマンインターフェイス研究会へ
～実用化を前提とした研究開発～

1984年名大院生のとき、知人より相談を受けて発話訓練機の開発を協力企業と開始しました。実用化の第一号です。それから40年、これまで70品目を超える製品の開発に携わって来ました。その経緯について紹介します。

梅崎 太造 氏

中部大学 理工学部
AIロボティクス学科 教授



13:35 - 14:35

ロボット・AI・最適化とヒューマンインターフェイスで
つくる豊かな社会

AIロボット、機械学習・感性インタラクションデザインから、進化的計算による業務・人員の最適化に至る、人中心計算技術の研究事例を紹介することで、豊かなくらしと未来社会を創造するための計算技術を議論します。

加藤 昇平 氏

名古屋工業大学 大学院
工学研究科 教授
NITech AI研究センター長



14:40 - 15:20

主観的な触覚の計測・共有・拡張

触覚は、対象だけでなく、皮膚特性や運動にも影響されます。「主観的な触覚」の情報化は、感覚や運動の支援、人と人との新しい関係をもたらすかもしれません。その価値について、研究事例を交えて考察します。

田中 由浩 氏

名古屋工業大学 大学院
工学研究科 教授
稲盛科学研究機構 (InaRIS) フェロー



15:25 - 16:55 見学会 3グループに分かれて3か所を巡回します。

①加藤研究室 3号館2階 ②田中研究室 3号館11階 ③NITech AI研究センター計算機ルーム 4号館6階 および 7階

16:55 - 17:30 名刺・情報交換会

お申込み
お問合せ

メールまたは申込フォームにてお申込みください

<https://forms.gle/zADq4EZC6memf3MYA>

(公財) 名古屋産業振興公社 産業連携推進部

☎ 052-655-5020

✉ human-interface@nipc.or.jp



受付終了後、フォームから回答
コピーがメール送付されます。
メールが届かない場合はお手数
ですが、お問合せください。

【共催】 (公財) 名古屋産業振興公社 名古屋市 【後援】 国立大学法人名古屋工業大学 NITech AI研究センター

<個人情報について>

ご記入いただきました個人情報は本講演の運営および主催者が開催するイベントのご案内に必要とされる範囲で利用させていただきます。主催者以外の第三者への提供は一切行いません。